

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2060号 2011年03月28日(月)

《 end of fiscal year 》

日本での原発事故、ポルトガルやスペインなどが直面する財政危機、それに中東情勢など不安要因を多く抱えての年度末週です。今週は、米3月の雇用統計など発表される指標も多く、株式市場が先週に見せた強気相場のまま終われるかなどが注目点。為替相場はユーロを中心に動きそうで、ドル・円相場に関しては膠着状態が続くことが予想される。

先週はアメリカを中心とする株式相場の強さが目立った。ヨーロッパでの財政不安も中東情勢も材料としては新鮮味がなくなる中でのニューヨークの株価上昇。資金がリスクに対する姿勢をそれまでのアバース (averse) 状態からかなり「リスクテイク」に変化した兆候が伺える。ただし日本の株式相場は当然それについて行けていない。

それは、「終わりまではまだ遠い」という国際原子力機関 (IAEA) の天野之弥事務局長の発言が示すとおり、福島第一原子力発電所の危機に終わる兆しが見えないことによる。昨日は福島第一発電所の2号機のタービン建屋の中の水 (床に溜まった) について一騒動あった。最初、通常の原子炉内の水に比べるとヨウ素134が1000万倍となっていると発表されたが、その後「10万倍」と訂正された。

原因は半減期が短いヨウ素とそうではないコバルトを取り間違えたとも言われているが、危機の時とは言え事態の收拾に当たっている関係者には慎重で落ち着いた状況把握が急務であると言える。

商品相場の動きも要注意である。世界的視点から見ると、日本の原発事故の余波で原子力発電に対する評価はかなり低下している。原子炉58基を抱えて総電力の78%を原子力に頼っているフランスなどでも一部で「原子力発電見直し」の動きも出てきていると言われる。多くの国で、一時的にせよ原発の見直し、計画の一部凍結の話が出てきている。こうした中では、原油相場には上昇圧力がかかる。

福島第一の原子炉はいずれも格納容器という非常に頑丈な容器が周りを覆っており、チェルノブイリの時のような原子炉爆発のようなことはないにしても、今のような放射能の漏れが続くと、投資家心理はなかなか盛り上がらないと考えられる。これは日本株の出遅れの背景となり得る。もっともその格差を狙って海外の投資家が資金を入れてきている面があるが、市場全体の盛り上がりは先の話となる。

《 yen in a tight range 》

先進各国の協調介入を受けたあとのドル・円相場は、「さらなる介入」を示唆する発言がヨーロッパサイドから出ていることなどもあって、その後は動けない状況が続いている。しかし、一連の動きの中で分かったことは、根強い円高圧力である。なぜなら、76円25銭まで進んだ円高が一過性のものであるにしても、円相場が対ドルで80円から円安方向に遠ざかる兆しが見えない事による。円に本当に弱い材料が揃っているなら、例えば85円の方方向に動いても良いのに、その動きはない。そういう意味では、今後とも円高には要注意である。

今週の主な予定は以下の通りです。

3月28日(月)	米2月個人所得・支出 米2月PCEコアデフレータ
3月29日(火)	2月労働力調査 2月家計調査 2月商業販売統計 米3月コンファレンスボード消費者信頼感指数 米1月S&Pケースシラー住宅価格指数
3月30日(水)	2月鉱工業生産(速報) 米3月ADP雇用統計
3月31日(木)	2月住宅着工/建設工事受注 米3月シカゴ購買部協会景気指数 米2月製造業受注
4月01日(金)	日銀短観 3月新車販売台数 米3月雇用統計 米2月建設支出 米3月ISM製造業景況指数 米3月国内自動車販売 インド2月貿易収支

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。従兄弟会があって週末は長野県の諏訪にいたのですが、空気は綺麗だし景色も素晴らしかったが、この綺麗な国土の一部で放射能汚染が起きているのかと思うも、やはりどこか気分が晴れない。早く綺麗な国土に戻って欲しいと思っています。まだ放射能のレベルが高いところもありますが、東京を含めて全体的には水道水のそれも含めてレベルは下がってきている。しかし一方で大きな発生源は依然として問題を抱えているわけで、再び高くなる危険性はある。そういう意味では、落ち着かない日々です。

報道される数字に不安感を抱く人もおり、ある従姉妹のダンナさんは、3.11以来全く喋らなくなった、テレビも緊急速報が流れる部分に紙を貼って見ている、と。

まあ極端な話だし、見えなくすれば事態が好転するわけでもない。しかし、気持ちは分かる。今回の事故ではあまり報じられないが、アメリカ軍が大きな支援を提供してくれている。総力を挙げて福島第一の原発事故をコントロールして欲しいものです。そうすれば、今後の展望も開けてくる。

それでは、皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》